

競技上の注意

第73回(第74回冬季)国民体育大会 近畿ブロック大会卓球競技会

審判長 竹本 秀生

平成30年6月1日一部改定の日本卓球ルールを適用して実施します。

競技者はスポーツマンシップに則り、ルールを遵守し、立派なマナーのもとに正々堂々と競技を行って下さい。

1. 試合方法について

- ◎各府県総当たりリーグ戦により、各種別とも3名の選手からなる5シングルで試合を行う。但し、外国籍選手は、CまたはZのみに出場できるものとする。(ABC、XYZの選択は、オーダー交換所でトスにより決定する。)
- 試合進行につきましては、タイムテーブルに沿って進めますが、試合が長引いて次のタイムテーブルに支障があると競技委員長と審判長が確認した場合は、協議の上、速やかに双方の監督に通告し、可能な限り2台進行に移行させていただきます。(下記1番・2番は1台。3番の試合で判断して4番5番を2台進行に移行が基本。)

	1番	2番	3番	4番	5番
ABCチーム	A	B	C	A	B
XYZチーム	X	Y	Z	Y	X

2. ボール・ラバー、ラケット、について

- ◎試合球は、日本卓球協会(JTTA)公認プラスチック球「40mmホワイト」(VICTAS・日本卓球・タマス各社のボール用意します。)を使用します。
- 使用球は、事前にボール選球所でチーム毎に3球(以内)選んで、主審に渡すこと。
- 選球されていない場合や、選択したボールが破損等で使用できなくなった場合は、主審の所持球を使用する。
- 対戦する相手とボールメーカーが異なる場合は、拳によって決定します。試合中に破損等でボールを交換する必要が生じた場合は、同じメーカーのボールと交換する。
- ◎ラバーは、JTTAまたは、ITTFが公認したことを示すロゴがなければ使用できません。
- ◎ラバーは、ラケット本体より大きかったり、小さかったりしないこと。
- ◎ラケットにラバーを貼る場合は、指定の「ラバー貼替所」で行って下さい。
- ◎外国製ラケットで、JTTA公認マークのないものを使用する場合は、試合開始1時間前までに「外国製ラケット使用許可願い」を提出して審判長の許可を受けてください。
- ◎ゲーム中にラケットを破損した場合は、スペアラケットか、競技領域内で手渡されたもので、すぐプレーをしなければなりません。

3. ラケットコントロール(ラケット検査)について

- ◎大会期間中、ラケット検査を無作為に行う予定です。

4. サービスについて

- ◎サービスを動作開始から打球するまで、ボールを隠すような動作なく、レシーバーにはっきり見えるようにしてください。
- ◎ボールに回転を与えることなく、プレーイングサーフェスよりも高い位置で、しかもエンドラインの後方より、ほぼ垂直に16cm以上投げ上げ、落下する途中を打たなければなりません。
- ◎ボールが手のひらから離れたら、すぐにフリーハンドとその腕(フリーアーム)をボールとネットとの間の空間の外に出さなければなりません。

5. 競技用服装等について

- ◎競技用シャツ、ショーツ、スカートはJ T T A公認マークが付いているもの着用してください。
この近畿ブロック大会では、近畿理事長会議での申し合わせにより「ユニフォーム、ゼッケンについては、特に制限しない。」を適用します。
- ◎競技者が「サポーター・スパッツ・リストバンド」を着用する場合、メーカーの商標・ロゴはそれぞれ1カ所、かつJ T T A公認用具指定業者の広告のみが認められる。
- ◎アンダーシャツは、競技用服装から大きくはみ出さないようにすることで着用が許可されます。
若干のはみ出しで、メーカーの商標・ロゴが付いている場合は、外部から見えないようにしてください。

6. 抗議・タイムアウトについて

- ◎団体戦の抗議は、問題が生じたチームの監督のみが行うことができます。
ただし、主審または副審による事実の判定に対し、抗議することはできません。
- ◎競技者または監督は、1マッチにおいて1分以内の「タイムアウト」を1回要求することができます。
タイムアウトの要求に関して、競技者と監督の意見が異なる場合は、監督の意見が優先されます。

7. バッドマナーについて

- ◎競技者または監督等は、観客に不快感を与えたり、相手選手をイライラさせるような行為、あるいはテーブル、ネット、フェンス等の器具を乱暴に扱う行為は、いずれもバッドマナーとしてペナルティーの対象となります。
- ◎ポイントが決定した後は、速やかに次のサービスの体勢、あるいはレシーブの体勢をとり、みだりに時間を取るようなことなく、競技のスピードアップを図ってください。「スロープレー」もバッドマナーの対象となります。
- ◎バッドマナーに対しては、最初はイエローカードによる警告がなされるが、2回目以降は種類の異なるバッドマナーであっても、相手に1点(3回目は2点)が与えられます。更には、失格を含むペナルティーが科せられます。

8. 試合中のアドバイスについて

- ◎少年種目の競技者は、ゲームとゲームの間の休憩時間、あるいは、規定で認められた競技の中断時のみアドバイスを受けることができます。ただし練習時間終了時とマッチ開始の間はアドバイスを受けることはできません。
- ◎成年種目の競技者は、競技が遅延しなければ、ラリー中を除き、いつでもアドバイスを受けることができる。
- ◎いずれも長すぎたり、時間外のアドバイス等は、バッドマナーと判断され、主審からイエローカードや退場を含む罰則が科せられます。

9. ケガ等による競技の中断について

- ◎競技者が事故によって、一時的に競技不能となったときは、いかなる場合でも10分を越えない範囲で、競技の中断を認めます。鼻血についても同様とします。

10. 一般的注意事項

- ◎オーダー交換、試合コートへの入場は遅れることのないようにしてください。
- ◎進行の都合で試合コートの変更・試合開始時間を変更することがあります。放送、掲示等には注意してください。
- ◎試合中に起こったケガ、または事故については応急処置を行います。一切の責任は負いません。
- ◎競技場内での携帯電話は、使用禁止です。呼び出し音の鳴らないように注意してください。
- ◎カメラ・ビデオ撮影は、「報道」として許可された者以外、フロア内での撮影は禁止します。
(自チームの撮影用としてのみ1台を許可します。)
- ◎盗難防止のため、持ち物は、各自責任を持って管理してください。
- ◎競技場内での濡れ雑巾の使用は、禁止とします。
- ◎会場内外の施設に勝手に入ったり、会場周辺の迷惑となる行為は絶対にやめて下さい。
- ◎フロア内では、蓋つきのボトルでの水分補給を除いて、飲食は出来ません。飲食は、観覧席でお願いします。
- ◎喫煙は、所定の場所のみでお願いします。